

ケアマネ通信おびひろ

平成 23 年 9 月 22 日発行
帯広市介護支援専門員連絡協議会
発行責任：濱 功之

第33号

【目次】

- 1、平成 23 年度交流会のご案内
- 2、研修レポート（居宅介護支援事業所ピリブ・佐藤篤史さん、居宅介護支援事業所愛仁園・塩見一晃さん）
- 3、私のお気に入り（地域包括支援センター帯広至心寮・藤本幸子さん）
- 4、癒しのオフタイム（居宅介護支援事業所シグナル帯広・石原岳さん）
- 5、ケアマネの輪（地域包括支援センター愛仁園・小野貴史さん）
- 6、会費納入のお願い



帯広ケアマネ連協・THE 交流会のご案内

今年もこの時期がやってきました。年に 1 度の大交流会！今年から会員になった方、まさかと思いますがケアマネ連協の交流会は敷居が高いと思いませんか？そんなことはありませんよ！

今年度は「脱スリッパピンポン」を掲げ、総務部一同で以下の通り企画をしました。体力、運動神経に自信のない方、どうぞご安心下さい。個人戦ではなくチーム戦で、往年の某クイズ番組ではありませんが勝つためには「知力・体力・時の運」が必要となります。クイズあり、リレーありと盛りだくさんの内容です！皆でよい汗を流しませんか？たくさんのご参加お待ちしております。10月中旬以降、改めてご案内致します。

第1回！ケアマネだらけの大運動会！

日時：平成 23 年 11 月 25 日 18：45～

場所：帯広市グリーンプラザ

費用：大会参加費・無料！

豪華賞品・参加賞あり



画像は昨年度のもので



夜の部・懇親会

日時：平成 23 年 11 月 25 日 20：15～

場所：ときわ（帯広市西 8 条南 17-3-1）

費用：3,000 円前後予定



【北海道ブロック研修会in北見に参加して】

8月6日に日本介護支援専門員協会のブロック研修会に参加するために北見に行ってきました。この日はかなりの猛暑で外に出ると汗が流れる気温の中、会場内も熱気がありました。講演は大きく三つに別れており講演の後は今回のテーマに沿ったグループワークが行なわれました。最初の講演は日本介護支援専門員協会の木村会長より『地域包括ケアシステムが求める地域未来』をテーマに話されました。3月の東日本大震災の時に介護支援専門員協会として災害支援を行なった内容の報告もしていただきました。利用者のアセスメントを行なっても被害が大きく、繋がられるサービスが限られているとのことで被災地でのケアマネの活動の苦労や大変さを感じました。

ケアプラン作成の利用者負担の導入の件では、利用者が今まで通りにサービスを使えなくなる可能性もあり導入には断固反対と木村会長が国会で何度も話し合い24年度の制度改正時には導入されないことが決まったとのことでした。木村会長の講演を聴かせてもらうのは2回目ですが、今回も日本中の利用者やケアマネのために奮闘されているのだと熱い想いを感じました。

二つ目の講演は尾道市医師会介護保険センター管理者の安井講師より『カンファレンスが作る地域包括ケアシステム』をテーマに話されました。尾道市ではケアマネが主催する担当者会議では主治医と家族の参加は原則決められているとのことでした。医師は急がしい中でカンファレンスに参加されるので短時間で済むように事前にフェイスシートやケアプランを送付して情報の共有を図るそうです。カンファレンスを通して問題提起し目的、目標を共有し多職種が効率的機能分担し利用者の支援を行なっていくとのことでした。ケアマネは医療との連携が苦手気味な所がありますが、尾道市のように医師会の全面協力でカンファレンスができるのは羨ましく感じました。

最後の三つ目の講演はデイサービスセンターあうん 代表取締役川田講師より『最高のチームケアを実践するには』をテーマに話されました。現在のデイサービスを立ち上げる以前の施設の相談員時代の話の笑いを交え時には熱く最後には感動させてくれる内容に引き込まれて聴かせていただきました。職場内の上司や部下にどう接していけばチームとして円滑な人間関係が築けて良い仕事ができるかをわかりやすく体験を交えてお話ししていただきました。上司や同僚に川田講師みたいな方がいれば心強いらうなどと思わせるお人柄で情熱を感じました。最後に川田講師にモチベーションを保つにはどうしたらいいか？という質問に『多職種の方やケアマネの仲間と飲み会の場等を多く企画し夢や色々な事を語ること』と答えられていました。自分もこれから視野を広げ色々な方との出会いによってモチベーションを高めていけるように努力していきたいと思えます。



研修後の懇親会の二次会では北見の地ビールが飲めるオホーツクファクトリーに連れて行っていただき、美味しいビールを沢山いただきました。北見のケアマネの皆様ありがとうございました。次の日は名物の塩焼きそばを食べて帰り、北見を堪能して夏の思い出になった1泊2日でした。

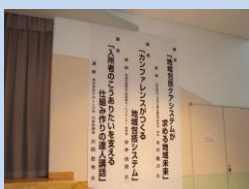
居宅介護支援事業所ピリープ

佐藤 篤史

私は今年の5月からケアマネになったばかりで、知識も経験もほとんどないので今回の研修を聞いてもチンプンカンプンなのでは？と正直不安な気持ちでした。しかし実際講義を受けて、良い意味で裏切られました。というもとの講義も「目から鱗の話」ばかりで先生方の話もとても解りやすく、しかも大変面白かったからです。中でも特に心に残った話は、ふたつあります。最初の講義の木村隆次先生の「地域包括ケアシステムが求める地域未来」から、「地域連帯のクリティカルパス」の話。もうひとつは、安井由江先生の「カンファレンスが作る地域包括ケアシステム」から「尾道方式のケアカンファレンス」についてです。

まず一つ目の「地域連帯のクリティカルパス」についてですが、これからは「単一機関完結型」から「地域完結型」への転換がされていく流れがあり、そのメリットとしてそれぞれの病院の得意分野を生かし地域で病気を治すという考え方がとても効率もよくすばらしい考えだと思いました。急性期、回復期の役割分担が明確になり病院側の経営にもプラスになるだろうし、何より患者さんにとって治療段階に応じた最善の医療を受けることができると思います。北海道には、まだまだリハビリ医療を提供できる病院は少なく、地域的にも偏在しています。脳卒中になってもすぐに退院させられ、寝たきりになっている方は少なくないと聞きます。厳しい医療の情勢ですが、地域連携パスの普及を通じて、近い未来、地域全体の医療レベルを少しでも向上して行って欲しいと願っております。

次に二つ目の「尾道方式のケアカンファレンス」についての感想を述べたいと思います。尾道市では医療行為が必要なケースについてはほぼ100%医師のもとでケアカンファレンスが開かれているとの話で大変驚きました。その利用者の居宅サービスに関わるすべての専門職が一堂に会して、それぞれの立場から介護にどう関わり、何に注意すべきかという課題の分析、介護上の共通の目的を確認しているそうです。このことにより、日常の介護での連携がスムーズになり、役割分担も機能的に行っているとの事。たんの吸引なども状況に応じて介護職に研修を行い分担してもらうこともあると紹介されていました。ケアカンファレンスがほぼ100%行われているというのは驚きですが、



実に理想的なやり方だと思いました。地域の特性もあり、どこでもできることではないのかもしれませんが、医療面ではもっとも高度な知識と技術を持つ医師が先頭に立って動いていることで連携しやすくなるのかもしれない。今回の研修で、以前とは違った視点で入院患者様の方向性を検討する目を養えたように感じています。研修での貴重な経験を活かし、今後の業務に反映させていけるよう努めていきたいと思います。

居宅介護支援事業所愛仁園

塩見 一晃

～私のお気に入り～



地域包括支援センター帯広至心寮

藤本 幸子



★紹介するお店★

Cafe「うづき」

幕別町新川 126 / 0155-54-3174



コーヒーがブラックで飲めるようになってから、カフェめぐりが大好きになりました。札幌内、幕別を超えて豊頃までうちよっという畑の中に「うづき」はあります。ちょっと気分転換にドライブ♪というほどよい距離です。

お店は落ち着いた懐かしいような雰囲気、手作りのおいしいケーキが6種類用意されています。定番のものから季節に合わせて提供されるものもあり、どれもおいしいです♪ 今回は紅茶のシフォンケーキを選んでみました（娘が大好きなケーキはガトーショコラで「うづき」のケーキが一番大好きです）。

使用している食器も、不思議な魅力いっぱいの清水しおりさんの陶器を使っていて、手になじみとって癒されます。オーナーさんも温かい雰囲気でお出迎えしてくれます。そんな「うづき」に、みなさんぜひお立ち寄りください。



※注 ケーキはなくなることがありますので、どうしても食べたい方は連絡してからが良いかもしれません。

↑私も行ったことがあります。本当に静かで落ち着くお店です。付き合い始めのカップルにはお勧めしませんが、付き合い始めたころを思い出したいカップルにはお勧めです（えっち）。

癒しのオフタイム

居宅介護支援事業所シグナル帯広

石原 岳



写真①「ホールド」

皆さんこんにちは！健康診断では年々再検査の項目が増えている虚弱な石原です。今までは虚弱なのでインドア中心に趣味活動を行ってききましたが、知人の勧めによって突然目覚めて始めたのが「ボルダリング」というスポーツです！あまり聞きなれないと思いますので、簡単に内容を説明しますと「英語で Boulder=巨岩」で「ボルダリング Bouldering=巨岩を登ること」ということで、3~4m程度の壁を写真①の「ホールド」と呼ばれる突起物に掴まりながら登るスポーツです。使う道具は「専用の靴」と「自分の手足」と「手が滑らないために使う「チョーク」」だけなのでとってもエコでお財布にも優しい趣味です♪

専用の靴ですが、写真②をご覧になっていただくと分かると思いますが、メチャメチャ小さいサイズの物を履きます。ちなみに白いのが普段履いている靴で赤いのがボルダリング用の靴です。5分も履いてられないくらい足が痛く、腕は箸が持てないほどパンパンになり、裸足で履くので靴の匂いもキツイと修業的な要素が多いですが、課題と呼ばれる決められたルートを登った時の「**フキ達成感**」がたまらないスポーツです！

虚弱な僕でも続けられるスポーツなので、この記事を読んで興味を持った方はぜひ声を掛けてください！一緒にやりましょう～ ただし、僕より上手くなりそうな方はお断り致します♪（笑）



写真②「専用の靴」

↑高速道路の占冠インターを降りて札幌方面にしばらく行ったところに岩登りのできる場所がありますよね。これからはロッククライミングと言わずボルダリングと言うようにします！



写真はイメージです



地域包括支援センター愛仁園 小野 貴史

はじめまして、今年4月より地域包括支援センター愛仁園に勤務しています小野貴史と申します。目まぐるしく過ぎていく毎日ですが同じ職場内の上司、先輩方々にはもちろんのこと、関係する事業所の方々にも大変お世話になりながら日々勉強させて頂いています。そして何よりご利用者様あって私たちの仕事が成り立っていますので、より良い自立支援の提供を目指して勉強していきたいと思っています。

地域包括支援センターの仕事は幅広い知識が求められます。例えば、先月訪問した女性の方に「どうしたら、パークゴルフの球が浮いて、もっと遠くへ飛ばようになるのか?」と質問され、私は迷いました。私は小5の頃からパークゴルフをしていたため、それなりの知識や技術は持っており説明するのは容易でしたが、自分の業務も遂行しなければならず葛藤の末、ボールの位置やスウィング、現在に至るまでのクラブの進化など45分かけてレクチャーしました。

また、ある時は洋画を見るのが趣味という女性の方に「あなたはどんな映画が好きなの?」と質問され、私は迷いました。高校時代に見た「十戒」の話をすべきか手早く切替えて業務を遂行するか…私は「モーセ」を選択しました。あま (↑マジでご本人様の写真) り話が長くなると私の仕事に疑問を持たれる方が出てきますのでこれくらいにして、また機会があればお話ししたいと思います。



これからも日々勉強です。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

年会費納入のお願い

いつも帯広市介護支援専門員連絡協議会の活動にご協力いただきありがとうございます。さて、総務部よりお願いがございます。毎年、会員の皆様には定期総会以降に年会費を納入いただいておりますが、必ずと言ってよいほど未納の方がおられます。日々の激務の中で納入を失念されている方もいらっしゃると思いますが、今一度、会費の納入についてご確認くださいませようお願いいたします。

未納の方には個別に連絡させていただくなどの対応させていただいておりますが、会員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。



【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「**入退会・変更届出書**」の書式を活用して速やかに届け出てください。

★メールアドレスの登録について、各事業所や会員へのメール配信については、今後それぞれの希望を確認した上での対応とさせていただきますので、**メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。**

★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、[ホームページ](#)から入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。

(事務局 帯広市社会福祉協議会 藤原)

= 編集後記 =

皆様、こんにちは。小栗旬「激似」の編集長「えっち」です。自分で言うのもなんですが、そろそろ、このくだりに飽きてきているのは事実です。

今年度も上半期が終わろうとしておりますが、月日が経つのは早いですね。

先日、新得そば祭りに行ってきました。その時、ふと学生時代のことを思い出しました。「蕎麦本来の香りを楽しむ」と言ってそばつゆを一切つけずに食べたこと、蕎麦湯をそのまま飲んでいたこと、ナマの玉ねぎをかじって「甘い」と言っていたこと、ミニスカートとロングスカートではロングのほうが燃えると言っていたこと、全校集会でくしゃみと同時におならを人のせいにしたこと、胸毛が生えたこと・・・秋の味覚に舌鼓を打ちながら、ちょっぴりノスタルジックな気分になりました。

編集長えっち